

平成 29 年度 第 1 回  
魚津市子ども・子育て会議会議録

平成 29 年 7 月 21 日（金）

## 平成 29 年度 第 1 回 魚津市子ども・子育て会議

- 1 日 時 平成 29 年 7 月 21 日 (金) 14 時 00 分から 15 時 15 分まで
- 2 場 所 魚津市役所 第一委員会室 (4 階)
- 3 出席者 【魚津市子ども・子育て会議委員 (16 名)】

奥田 實	(富山県立大学 名誉教授)
内海 三佐雄	(魚津市社会福祉協議会 事務局長)
舟木 里加子	(魚津市民生委員児童委員協議会 主任児童委員)
吉田 由佳	(魚津市保育研究会 会長)
坂本 真紹	(魚津市民間保育連盟 会長)
山浦 春美	(魚津市幼稚園教育研究会 代表(大町幼稚園長))
新夕 佳子	(魚津市小学校長会 代表(村木小学校長))
宝田 幸嗣	(魚津市中学校長会 会長)
稗島 由美子	(魚津市 P T A 連合会 副会長)
石倉 啓子	(うおづ女性の会 監事)
中嶋 寿絵	(新川厚生センター魚津支所 支所長)
大嶋 昭子	(魚津市母子保健推進員連絡協議会 副会長)
高瀬 忠次	(魚津市公民館連合会 代表(経田公民館長))
吉浦 由雄	(魚津市自治会連絡協議会 副会長)
長沼 潔	(魚津商工会議所 事務局長)
西尾 秀樹	(連合富山魚津地域協議会 幹事)

### 欠席者【魚津市子ども・子育て会議委員 (2 名)】

高木 寛子	(公募)
江口 葉子	(公募)

### 傍聴人 (1 名)

### 事務局

吉川 高広	(民生部長)
武田 寛	(教育委員会教育次長)
宮野 司憲	(こども課長)
上坂 一弘	(学校教育課長)
森山 明	(健康センター所長)
田村 理子	(学校教育課 学校教育係長)
上田 洋美	(健康センター母子保健係長)
石浦 満理子	(こども課 子育て支援係長)
山本 春美	(こども課 保育係長)

## 4 審議内容

### 1 開会

(事務局)

只今より平成 29 年度第 1 回魚津市子ども・子育て会議を開催する。開催に先だって魚津市民生部長吉川高広より挨拶をする。

### 2 あいさつ

(民生部長)

子ども子育て支援については、これまで以上に力を入れている分野であり、昨年 10 月に子育て世代包括支援センターを設置し、今年度では、保育料の同時入所第 2 子無料化、病児病後児保育を拡充し、送迎サービスを取り入れた。最近では、産婦人科クリニックを開設するという動きが徐々に進んでいるところである。本日協議事項として 3 点程出ているが、皆様のご意見を頂戴しながら、適切に子ども子育て支援策に反映させていきたいと思っている。皆様の忌憚のないご意見を頂戴したい。

(委員長)

新聞、ニュース等でご存じのとおり、子どもを巡るいろんな事件が連続して起こっている。本日の議題でも、子どもの貧困問題や放課後児童クラブの問題等がある。今や子どもたちは、社会の子どもだという認識を持って社会で協力して育てていかなければならない状況になっていると思う。活発なご議論をお願いしたい。

### 3 報告事項

⇒事務局より、報告事項(1)魚津市子ども・子育て支援事業計画進捗状況について、資料①に基づき説明

(委員長)

この報告事項について質問、ご意見があれば挙手をお願いしたい。

(中嶋委員)

14 ページの養育支援訪問事業について、養育支援訪問数が平成 27 年度 4 世帯から平成 28 年度 17 世帯に増加したとある。要支援妊婦ということで気がかりな方だと思うのが、どのような方たちが増えたのか。

(事務局)

詳細については、今手元に資料がないのでわからない。いろんな相談の過程でケースが増えていくということが考えられる。その背景として、昨年 10 月に子育て世代包括支援センターを開設し、相談の場を充実したため、以前よりも多く養育支援が必要なケースをキャッチしたということがあると思う。

#### 4 協議事項

⇒事務局より、協議事項(1)子どもの貧困支援計画策定事業について、資料②に基づき説明

(委員長)

この件に関して、ご質問、ご意見はないか。

(長沼委員)

いいことだと思う。このスケジュールによると、計画の決定を3月までにして公表するということが、平成30年度に子どもの貧困支援の事業をするということか。

(事務局)

アンケートの集計、分析をし、方向性を決めて、少しでも平成30年度の予算に反映したいとは考えている。3月に決定すると新年度予算に間に合わないということもあるが、望まれる支援等があればひとつでも実施したい。

(新夕委員)

今年度事業スケジュールによると、8月にひとり親家庭に調査票配布、9月に小・中学生に調査票配布とあるが、それぞれバラバラに学校から配布するのか。

(事務局)

8月は児童扶養手当の現況届の提出時期なので、8月のひとり親家庭についてはこども課で配布する。小・中学生については、9月に学校で配布、回収をお願いする。

(新夕委員)

学校ではアンケートの配布はするが、アンケートの目的についての説明はできない。これだけで保護者に伝わるか不安がある。アンケートの趣旨について別に説明をされるということはあるか。

(事務局)

アンケートの趣旨についてわかりやすく書いた依頼文もつけて配布したい。

(高瀬委員)

先に実施した市では、どのような成果があったのか。

(事務局)

昨年度、砺波市、高岡市、南砺市、黒部市で実施した。アンケート調査を実施した中で一番多かったのが、学習支援。他には就労支援、保護者の資格取得支援を望む声が多かった。先行自治体ではひとり親家庭の学習支援を拡充したり、子育てコーディネーターの体制を強化された。他には子どもの居場所づくりというのもあり、こども食堂の開設に力を入れたということも聞いている。

(中嶋委員)

既に実施された市のアンケートを参考に作成されたということだが、資料②-2の3ページ目の問1で、性別の選択肢に「その他」とある。これを入れたのには何か理由があるのか。

(事務局)

県下統一的にしていたようだが、「その他」を入れた理由までは県に確認していない。確認の上、不要であれば削除したい。

(中嶋委員)

資料②-2の5ページ目、(2)にA、B、Cとあるが、「～のせいで」という言葉が強く感じられる。例えば「A 仕事の時間の関係で」とか「B 仕事の悩みや疲れがあり」とか「C 仕事のため」とか、その程度の表現でもいいのではないかと思うが。

(事務局)

ご意見のとおりである。アンケートを書いていただく方の身になって、表現を直していきたい。

(委員長)

アンケートの趣旨を書いて別刷で配布するということに関して、このアンケートは内閣府の「地域子供の未来応援交付金」を活用して実施するという事も書かれれば良いと思う。そうすればどのような目的があるのかわかると思うので。

(事務局)

十分踏まえて対処したい。

(長沼委員)

保護者向けアンケートの問29について、この選択肢を見るとほぼ魚津市では実施されているサービスだと思われる。「サービスがあれば」という書き方なので、新たに実施して欲しいということか。

(事務局)

こういった事業サービスがあるが、どの事業サービスを利用されたいかという意味合いのように思っていた。表現を訂正したい。

⇒事務局より、協議事項(2)公立保育園における土曜拠点保育について、資料③に基づき説明

(委員長)

保育士の労働環境の改善という意味もあると思う。皆様のご意見をお聞かせ願う。

(高瀬委員)

説明会を実施した園ではどのような意見が出たのか。

(事務局)

経田保育園では大きな反対はなかった。子どもが泣くのではないかと、当日担当する保育士を公表するのか等あった。拠点園に関わらず4月5月は新たに入られたお子さんを中心に、保育士に慣れるまで時間がかかると聞いている。4月5月は一人一人の子どもの状況を見極めた上で、そのお子さんが懐いた保育士を配置するなど、年度当初のシフトについては少し偏りがでてくるかもしれないが、十分対応できる保育士を配置するというご理解を求めた。また、保育士の名前の公表は考えていないが、個別に聞かれれば対応したい。

⇒事務局より、協議事項(3)当面の放課後児童クラブ(学童保育)の進め方(案)について、資料④に基づき説明

(新タ委員)

村木小学校について、平成30年度途中の開設が難しいということで、平成31年度の開設になるかもしれないということだが、平成30年度の利用についてはどのようなになるのか。

(事務局)

現在つばめ児童センター、こばと児童センターを利用されている方については、つばめ児童センターの利用をお願いしたいと考えている。

(新タ委員)

村木小学校では2年生以上を受け入れて、1年生はつばめ児童センターを利用するということだが、兄弟姉妹がいる場合はどうなるか。

(事務局)

保護者の意向を聞いて対応したい。違う学年のところに行くことに抵抗を覚えるお子さんもいるので、本人又は保護者の事情を考慮して柔軟に対応しようと思っている。

(委員長)

全国的に学童保育の支援員が不足している状況があるようだ。

⇒事務局より、協議事項(4)その他(住吉保育園の民設民営化、H29.8.1からの委員の推薦)について説明

(事務局)

住吉保育園については、前回の会議に引き続き、再度、民設民営化による現在地への新園舎建設を進めていくことを説明した。今後状況が整い次第、保護者の方々、地域の方々、民間保育連盟の皆様方に説明するなど、整備に向けて丁寧に対応する予定である。

魚津市子ども・子育て会議委員の推薦、委嘱については、平成29年8月1日から平成31年7月31日までの任期の新たな委員全員が確定したら、委嘱状と新しい委員名簿を後日事務局から送付させていただきたいので、あらかじめこの場でご了解をいただけるとありがたい。

## 5 今後のスケジュール（予定）

### ⇒事務局より、今後のスケジュールについて説明

（事務局）

第2回会議については、子どもの貧困支援計画の策定に関して、アンケートを分析し、ある程度計画の概要ができたところで開催できればと考えている。併せて学童保育に関して、保護者の方々からのご意見を踏まえた上で今後の進め方がある程度決めることができれば開催したいと考えているので、時期的には年末11月か12月、若しくは進捗状況によっては年明けになるかもしれない。早めに日程調整をさせていただいた上で、少しでも早く開催日時についてご案内できればと考えている。

（委員長）

その他なければ閉会としたい。本日は、皆様活発なご意見を出していただいた。今後も魚津市の子ども子育てについていろんなご意見を出していただきたいと思います。先程アンケート用紙についてのご意見もたくさんあったが、他にもご意見があれば事務局の方へ出していただければと思う。本日はありがとうございました。

（事務局）

育ナビうおづのチラシも配布させていただいた。ゴールデンウィーク前から運用開始し、現在の登録は200件を超えたところだが、さらに拡充を図っていきたい。事務局ではさまざまところでPRをした。是非委員の皆様からも関係の方がおられたらPRをしていただければありがたい。

## 6 閉会

（事務局）

奥田委員長、ありがとうございました。委員の皆様にも貴重なご意見を賜りましたことに御礼申し上げます。本日はお疲れ様でした。

以上